



つながる ひろがる ひと 未来 ～私から わかやまから～

全国マルチメディア祭 2004 in わかやま

11月開催

19日(金)
20日(土)
21日(日)

高野・熊野は20日のみ

入場
無料

公式ホームページ <http://mm2004.jp/> 携帯 <http://mm2004.jp/mobile/>

全国最大級の地域情報化推進イベント「全国マルチメディア祭」が県内で開催されます。

情報化へのこれまでの県の取り組みを全国にアピールするとともに、高野・熊野の世界遺産等を活用した情報発信や最新情報機器の展示紹介等を通じ、地域と未来そして人と人をつなぐ「和歌山発ITビジョン」を創造するものです。

多くの県民の皆さんのご来場をお待ちしています。

※IT (Information Technology)

情報通信技術のことで主にパソコンや携帯電話などのコンピュータ機器やインターネットに関わる技術の総称。ITの活用により、より便利で快適に暮らせる社会の実現をめざしています。

和歌山マリーナシティ

和歌山会場

高野地域会場

県立橋本体育館

田辺会場

県立情報交流センター Big・U

熊野地域会場

新宮地域職業訓練センター

県内4会場のイベント

※詳しい内容はホームページでも紹介しています。

地域情報化サミット

田辺会場：県立情報交流センターBig・U (田辺市)

総合テーマ

- 地域からの情報発信とITビジネス振興
- ITを利用した防災への取り組み
- まちづくりと情報技術 (地域情報化)

著名な講師による講演やパネルディスカッション

主催者 (協力企業・研究所等) の最新IT機器の展示・実演

各種イベント、セミナーの実施

- デジタル防災無線/電子タグ活用/地上デジタル放送等の実演
- スケラブルVRシアター (天体観測の公開授業)
- ロボット等展示実演/宇宙服試着体験 など



ナチュラルビジョン(280兆色80インチ大画像)



IPコントロールカー
ロボビー

県の情報化推進への主な取り組み

●ITビジネスモデル地区構想

IHS構想による企業誘致やBig・Uを活用したIT施策により、国のモデル地区となった田辺・白浜地域へのIT関連企業の集積と地域振興を推進

●地域の情報化支援

情報発信を強化するインターネットコンテンツの開発支援

●情報通信アクセス網の整備支援

過疎地域等におけるブロードバンド通信の整備促進

●電子県庁の構築

本年度以降順次インターネットを利用した各種申請等を実現



県立情報交流センター Big・U 来年開館

情報通信技術を幅広く利活用し、さまざまな情報・人・モノが交流することにより人材育成・産業振興・地域活性化を支援する複合拠点施設です。

主な機関

- 情報交流センター(1月～)
多目的ホール・情報実習室・研修室・SOHOブース等
- 総合教育センター(仮称)(4月～)
- 県立図書館紀南分館(仮称)(1月～)

所在地 田辺市新庄町

交通 JR紀伊田辺駅または白浜駅からバス停「新庄総合公園前」下車徒歩5分、無料駐車場あり



地域情報化フェア



ユニバース (コンピュータグラフィックスを活用し、太陽系や各惑星を紹介)

和歌山会場：和歌山マリーナシティ (和歌山市)

IT関連企業約60社と県内教育機関の最新IT機器の展示・実演

- 各種テレビ中継イベント
- 連画ワークショップ
コンピュータ上で絵をつなげて「連画」の樹を成長させるゲーム
- "It's a beautiful day."

デジタルカメラ等で撮影した「わかやま」の県民参加型フォトコンテスト など



企業展示(イメージ)

地域情報化フォーラム (20日のみ実施)

各地域の特色を活かしたイベントを実施

高野地域会場：県立橋本体育館 (橋本市)

- IT関連企業の展示やパソコン教室
- 星空の移動動物園
高品位動画配信を利用したテレビ授業
- おもしろ科学の工作教室、ほんまもん体験イベント など

熊野地域会場：新宮地域職業訓練センター (新宮市)

- 講演「地域活性に向け、いかに結束を固めるか」
- 世界遺産「熊野川」の魅力語る/熊野の魅力映像上映会
- 少年野球個人指導・ステージトーク
- ビックリ合成写真特設スタジオ など

問い合わせ

全国マルチメディア祭2004 in わかやま実行委員会事務局
(県庁情報政策課内) ☎073-441-2406

※会場周辺の混雑が予想されるため、できるだけ公共交通機関を利用してご来場ください。

県議会だより 9 月定例会の概要

【会期】9月9日から9月29日までの21日間

平成16年度一般会計補正予算、和歌山県議会議員の選挙区の特例に関する条例案などを可決

知事のあいさつ(要旨)

木村知事は、これまでの取り組みをリセットし、新しい県政をひらく決意で、全国に先駆けた「和歌山モデル」の構築など「改革と発展」の県政を進めていくと述べました。

また、県政を県民に身近に感じてもらえるよう、普通の人の感覚、常識からはおかしいと感じることがないように「県民の想いをかなえる県政」を進め、知事選で掲げた「政策宣言」を基本方針としながら、本県の厳しい財政状況を踏まえ、選択と集中による重点的な施策展開を図り、さらに、職員の意識改革や情報公開の推進など「改革県庁」を一層進めるとともに、「県民自治」を推進し、女性やNPOが活躍できる県をめざしていくと



説明しました。今後とも、世界遺産である高野・熊野地域をはじめ、地域資源を活かした本県の魅力を積極的に発信し、県民が自信と誇りを持つことができる和歌山を実現すると述べました。

議決結果・意見書等

知事提出の予算案件3件、条例案件10件、人事案件12件、その他案件5件及び議員提出の条例案件1件について原案どおり可決・同意、知事専決処分報告1件についても承認され、請願は新規2件が採択されました。また、決算認定に関する議案は、閉会中に審議することになりました。

なお、人事案件は副知事及び出納長などの任期満了に伴うもので、副知事には小佐田昌計氏、出納長には水谷聡明

氏が新規に選任されました。意見書は、「低髄液圧症候群の治療推進を求める意見書」「郵政事業民営化に関する意見書」など4件が提出され、2件が可決されました。会期中には、人権問題等対策、関西国際空港対策、防災等対策、半島振興過疎対策、予算の5特別委員会が開催されました。

なお、補欠選挙で当選した飯田敬文議員は農林水産委員会、人権問題等対策特別委員会に補充選任されました。

また、会期中に超党派の27議員による「貴志川線の存続と利用促進を願う議員連盟」が結成され、県民運動として盛り上げたいとしました。

本会議の一般質問は17名の議員が登壇し、活発な質疑を展開しました。

主な質問とこれに対する知事や関係当局の答弁は次のとおりです。(要約抜粋)

問い合わせ 県議会事務局調査課 ☎073-441-3580

三位一体の改革と行財政運営

県財政はますます厳しくなると考えられます。来年度予算においては、徹底したスクラップアンドビルドによる行財政改革を進める必要がありますが、一方で、県内経済や雇用への配慮を行いながら、県民が安心して暮らせる県づくりに取り組んでいきます。

市町村については、厳しい社会経済情勢が続く中で、分権型社会を担う主体としての責務が増加していきます。合併によって規模が大きくなるメリットを活かして、行財政能力を高めることが有意義であり、県としては、合併した市町村に対し、合併支援プランに基づき支援していきます。合併しなかった市町村については、国の制度や地方財政措置に沿いながら、適切に、従来と同様に支援していきます。

教育問題～義務教育費～

義務教育は市町村の仕事であり、仕事をすると自分がのお金で運営するのが地方分権の大原則です。教育は国の根元であり、基本的なことは国が決めればよいのですが、地方がある程度自立的にやっていくためには、今までの国がお金によって口出しをするという仕組みを改めた方がよいと思います。

ただ、このことによって、お金が入ってこない大変なことになるので、交付税制度で完全に補填してくださいと主張しています。

市町村合併と合併協議会

市町村合併については、非常に大事な時期を迎えています。全国的にも合併協議が不調になるような話があり、県内でも事例があります。

県としては、合併協議会への職員の派遣や、できる限りの努力をした結果、全国より高い協議会の設置率になっています。

市町村の厳しい財政状況は、合併をしたから解決するという問題ではありませんが、適正規模の自治体をめざすということで取り組みが行われています。県としても残された期間、合併に向けて努力を積み重ねていきます。

難病患者に対する身体障害者手帳の交付

身体障害とは、その障害が将来とも回復する可能性が極めて少ないものであり、その障害が永続する方が身体障害者手帳の交付対象となります。現行の基準では、障害と認定できない難病患者が経済的、精神的にご苦勞があることは十分認識しており、県としては、医学の進歩や社会情勢の変化等を踏まえ、公平性、妥当性に配慮しながら特に難病特有の障害に着目した認定基準の見直し等、手帳交付基準の拡大を国に強く要望しています。

紀伊半島沖地震

今回の地震で今までわからなかった問題点・課題がでてきました。特に市町村の初動体制にばらつきがあり、住民への避難勧告等について適切な対応を重ねて依頼しました。県も「災害対策本部」を設置し、連絡調整等に当たりましたが、今回の教訓を基に職員の参集や連絡体制などを検証し、今後、改善します。津波防災マップについては、沿岸21市町の内7市町が作成済みですが、未整備市町に対して早急な整備を呼びかけています。

地震予知は現在の科学技術水準では困難ですが、県としても予知の現状や将来見通し等も含め調査観測体制の充実を国に働きかけていきます。

なお、災害発生時の船舶の活用については、緊急物資等の大量輸送手段として重要になると考えています。

また、電気通信事業者に対し、災害時の通信手段の確保を図るよう要請するとともに、防災行政無線をはじめ、各種通信媒体の効率利用を検討していきます。

世界遺産登録後の反響と課題

地域において、土産物を自分たちで考えていくような動きがでてくるなど、世界遺産登録は地域の元気に結びつきつつあることは非常にうれしく思っています。県としても、このような民間主導の動きをサポートしていきたいと考えています。

また、高野・熊野は長い歴史があり、持つ意味も時代に応じて変化しています。この地で健康を回復する「健康村構想」を主要プロジェクトとして取り組んでいきます。

世界遺産関連～指定地域以外～

和歌山には、紀の川流域にも多くの文化財があり、さらには和歌浦や加太などすばらしいところが多いと思います。全国から注目されている今、全体として活かしていく方法を考えていきたいと思っています。

南紀白浜空港の利用促進

これまで、県及び地元関係者による「南紀白浜空港利用促進実行委員会」を中心として、首都圏での各種イベント等を利用したPR活動に取り組んできました。今後、世界遺産登録を契機として「ほんまもん体験」等の体験型観光や熊野古道などを組み合わせた修学旅行の誘致を行うとともに、情報発信を積極的に行い、新たな空港利用客の発掘に努めます。

また、東京便以外の新規路線開拓とともに、白浜空港と関空利用のバック商品の企画開発や、両空港を利用した往復割引運賃をはじめ、より安価な運賃についても、航空会社等関係機関に強く働きかけていきます。

地域資源を商品として見立てた価値創造

本県の発展には、できるだけ自立することが大事だと思っています。特に景気が回復基調にある今こそ、和歌山の持てる力、例えば観光資源や歴史資源、農林水産業や地場産業、こういったものに付加価値をつけて伸ばし、それを後押ししていくことが大事だと考えています。

和歌山大学観光学部(仮称)設置構想

観光学部は和歌山の発展の大きな柱が観光であることから考えても、和歌山大学に一番似つかわしい学部であると思います。観光学部の設置は国立大学では初めてとなるため、学部新設には地元の熱意が不可欠です。今後、関係市町村や経済団体などに広く呼びかけ支援組織を設置し、県民の熱意の盛り上げ、国への働きかけなど地元と大学が丸となって取り組みを進めたいと考えています。

関西国際空港の諸問題

今、大きな国際空港で、一本だけの滑走路でやっているところは世界を見渡してもありません。

また、伊丹空港の制限ということについては、ようやくある程度原点に戻るという方向が出たと思っています。これを機会に、関空に国内便が戻ってくるだけでなく、さらに、にぎわいを取り戻していかなければならないと思います。

南海貴志川線の存続について

地球環境保全の視点から、鉄道は環境にやさしい交通機関であると認識しています。

貴志川線の問題についても、地元の熱意ある取り組みの中で、地域との協働や市町村との連携に努めながら積極的に応援していきます。

県財政が厳しい状況の中では、県全体を見ながら考える必要があります。地元の大きな取り組みと負担の中で、一つの新しいコミュニティ鉄道の方式になるようであれば、前向きに対応していきたいと考えています。

一万五千人の雇用創出

景気の状況が回復基調にあるとはいえ、県内では実感が薄い面もあり、雇用の回復を望む声が大きいです。「政策宣言」では雇用の回復に向けて、目標を持って最大限の努力をしていくために、一万五千人の雇用創出目標数を掲げましたが、これにとらわれず、雇用創出効果に軸足を置いた総合的・重点的な事業展開による雇用の確保を図り、県民の生活の安定と生きがいをもてるような施策を進めていきます。

第1回紀州よさこい祭り

県民、市民から盛り上がる形で起こってきた祭りは、非常に値打ちがあると感じています。来年もさらに規模を大きくして、和歌山を代表する祭りになっていくことを望んでいます。

梅生育不良の原因究明

うめは県の第一次産業中の基幹産業であり、生育不良の問題は非常に大事であると考えて取り組んできましたが、いまだ原因解明に至っていません。

うめ産地の大気環境の定点測定局については、関西電力が実施していましたが、平成15年1月で終了しました。

県においては、県うめ対策研究会からの「特にオゾン濃度の推移を監視する必要がある」との提言から、本年4月に開所した「うめ研究所」で継続測定しています。

紀伊丹生川ダム中止～地元対策～

中止に伴う地域整備については、旧紀伊丹生川ダム地域振興協議会において協議を行い、実現可能なものから事業に着手しています。今後、協議会において住民福祉・地域振興の観点から本年度内を目途に方向性を出せるよう、これまでの経緯を十分踏まえ積極的な対応を行います。

なお、国道371号については、特に交通の支障となっている22カ所を緊急に整備するため、今年度から4年間で狭隘箇所(せうがい)の拡幅及び待避所の設置等を行います。

発電所売却と有田川の安全対策

発電所を売るということとダムを売るということは全く違うことで、ダムは今後も県営ダムとして県が責任を持って管理します。その際、何が一番問題になるかという治水面であり、下流住民の生命、安全が大切なのは当然です。このことから、二川ダムの操作規程もより厳しい内容に見直しを行っています。

高等学校再編整備計画案

社会の変化や生徒の進路希望等に対応して、これまでも、学科の改編、総合学科の設置、中高一貫教育の充実等に努めてきました。このたびの計画案は、こうした高等学校改革を一層推進していくという視点から、生徒の生き生きとした高校生活を保障するためにとりまとめたもので、現在広く一般の方の意見をお願いしています。今後、寄せられた意見や関係者との協議の中で、最終案をとりまとめていく予定です。



人権特集

妹が産まれたとき
私はうれしかった
妹が産まれたとき
みんながうれしかった
妹が産まれたとき
命が
どれだけ人を幸せにするか分かった
妹が産まれてきたから
命の大切さに気づいた

人権の詩2003年度中学生の部 知事賞
「産まれてきたから」 阿波望さん(上富田町)



心なごむフォトコンテスト2003 最優秀賞 「今日は赤ちゃん」小松 由子さん(和歌山市)

11月・12月の人権に関する月間(週間)

11月1日	同和運動推進月間	11月30日
11月1日	青少年健全育成強調月間	11月30日
11月11日	人権を考える強調月間	12月10日
11月12日	女性に対する暴力をなくす運動期間	11月25日
	12月3日 障害者週間	12月9日
	12月4日 人権週間	12月10日

問い合わせ 県庁人権施策推進課 ☎073-441-2566

人権について「難しいな」と思っていないですか?でも、ふだんの生活の中であなたにも深く関わっています。

県では、11月11日から世界人権デーの12月10日までの1カ月間を『人権を考える強調月間』と定め、特にこの期間、県民の皆さんに人権の大切さについて考えてもらえるよう、さまざまな取り組みを行っています。

人権について、家庭や職場などで考えてみませんか。

気づくことからはじめませんか みんなの身近にある人権



かんがえましょう
理解しましょう
病気と人権

あなたはですか？
ハンセン病という病気のことを考えたことがある。
 Yes
 No

かつてハンセン病を患った方は誤った国の政策などによって、長い間偏見と差別に苦しんできました。ハンセン病は遺伝する病気ではなく、感染症の一つで、なおる病気です。これまで伝えられてきた病気への誤解、人権侵害の実態がようやく正しく伝えられるようになってきています。

私たちにできること それはハンセン病について正しい知識と理解を持つこと。これが偏見や差別をなくす第一歩です。

共に生きる社会をめざして、今一度考えてみませんか。



だめな言葉
軽い言葉
重い言葉
こんなこともできないの？

あなたはですか？
子どもの心が傷つくような言葉をかけたことがある。
 Yes
 No

ついつい子どもが思い通りにならなくて「この子はだめな子ね」と、子どもの心が深く傷つくようなことを言っていますか？力づくで大人の言うことをきかそうとしていませんか？何気ないひと言や行いが、その子どもの心に将来にわたり大きな傷を残すこともあります。

子どもを成長させるのも阻害するのも、周りの大人次第です。子どもの自主性や自発性、自ら判断し決定する力を育て、個性を伸ばす優しい心遣いを大切にしませんか。



犯罪被害者
ケガ
けが
けが

あなたはですか？
犯罪に関する報道や記事に興味本位でみてしまうことがある。
 Yes
 No

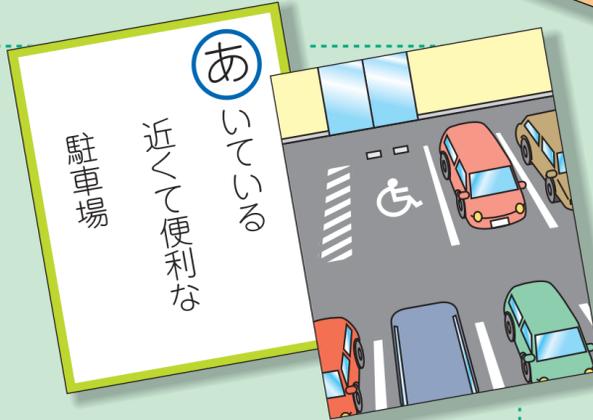
犯罪の被害者は、事件による直接的な被害に加え、捜査や裁判での精神的・時間的な負担、無責任なうわさや、行き過ぎた取材・報道によるストレスなどさまざまな問題に苦しむことがあります。経済的な負担は犯罪被害者への給付制度により軽減されましたが、精神的な支えは十分とはいえません。

犯罪は人の基本的な権利を侵害するものであり、誰もが被害者となる可能性があります。被害者が一日も早く立ち直るためには何が重要なか考えてみませんか。

私たちの生活を人権の視点で見直してみると、大切にしなければならぬ多くのことに気がつきます。そのなかのいくつかを、私たちが昔から親んできたカルタで表現してみました。

- たとえば、
- 「自由に発言する」
- 「自分の感じたことを芸術で表現する」
- 「住むところを選ぶ」
- 「学校に行き、勉強する」
- 「働くことができる、また、なりたい職業を選ぶ」
- 「病気になれば適切な治療を受ける」
- 「私的な生活をのぞかれない」

人権は、平和で安全に安心して暮らせるよう、私たちの生命や自由・平等を保障し、一人ひとりの日常生活を支えている大切な権利です。



あつこう
近くて便利な
駐車場

あなたはですか？
車いす使用者用駐車区画にとめる必要がない車をつい駐車してしまう。
 Yes
 No

スーパーや飲食店など多くの人が利用する施設の出入口付近に、車いす使用者用駐車区画があることをご存じですか？最近はこのような区画を備えた駐車場も増えてきました。

しかし、せっかく設置されていても、とめる必要のない人が近くて便利で空いているからと車をとめてしまえば、本当に必要としている人が利用できません。

ほんの少しの心遣いで、障害のある人もない人も共に快適に暮らせる「福祉のまちづくり」を進めませんか。



やくわり分担
今日からほんとも
風呂掃除

あなたはですか？
男は仕事に生きるのが一番、家事は女の仕事だと思う。
 Yes
 No

仕事を持っている夫婦の*家事関連時間は、1日あたり平均、夫が25分、妻が4時間12分です(平成13年社会生活基本調査 総務省)。このように、男性にくらべると、女性の家事に関する負担は非常に重いといえます。

これまで家事・介護・育児などは、もっぱら女性が担ってきましたが、本来家族みんなで協力していくべきものです。心豊かな家庭は家族みんなでつくるもの。

働き方や家事分担について、家族みんなで考え、話しあってみませんか。

※家事関連時間…家事、介護、看護、育児、買い物の合計時間



お持ちしましょう
その荷物
声と笑顔に
心がかよう

あなたはですか？
高齢者の方が、困っている様子を見かけたときは、声をかけようと思う。
 Yes
 No

「住み慣れたまちで安心して暮らしたい」これは、すべての人の願いではないでしょうか。

お互いが思いやりの気持ちを持って接することは最も大切なこと。最近、高齢者に対する身体的・心理的虐待が多く聞かれます。

高齢者に対してもイメージは？高齢者の尊厳を守るとは？痴ほうって？高齢者虐待を解決するには？このようなことから、高齢者の人権について考えてみませんか。



がい国人と日本人
よく暮らして
よく暮らして

あなたはですか？
日本で暮らす外国人は地域社会の一員だと思う。
 Yes
 No

日本で暮らす外国人も日本人と同じように生活を送っています。国籍が違って、文化、習慣、価値観等の違いがあっても、同じ地域社会の一員です。

お互いに理解を深め、尊重しあい、みんないっしょに楽しく暮らせる地域づくりについて考えてみませんか。



けこんは
あなたとわたしが
決めよう

あなたはですか？
結婚を決めるときには、親や親せきの忠告に従うべきだと思う。
 Yes
 No

結婚差別は、同和問題の最後の越えがたい壁であるといわれています。結婚相手の出身地によって、親や周りの人たちが、家柄や世間体などを言い出して、結婚ができなかったり、親や親せきとの関係を絶たれてしまうということがいまだにあります。人は誰も、自らの親や出身地を選べません。生まれたところや住んでるところによって人を判断することはまったく不合理なことです。

一人ひとりが、因習や偏見、世間体などに縛られない社会をつくりませんか。

ふれあい人権フェスタ2004

日時 **12月4日(土) 10:00~17:00**
5日(日) 10:00~16:00

場所 和歌山ビッグホエール 和歌山市手平2-1-1

● **ステージイベント**

和太鼓の演奏、ミニライブ、ダンスなど

● **映画上映**

「ファインディング・ニモ」
 4日13:00~/5日13:30~
 「風の舞」 4日11:30~
 (第56回人権週間「人権のつどい」)

● 体験コーナー、ワークショップ、パネル展など

● 韓国料理などの模擬店、フリーマーケット

問い合わせ

(財)和歌山県人権啓発センター ☎073-435-5420



© Disney/Pixar

同時開催

① **りいぶるフェスタ** 4日 13:00~15:00 ※詳しくは8面をご覧ください

セレモニー及び講演会 講師 海原純子さん(医師・エッセイスト)
 ※問い合わせ 県男女共生社会推進センター ☎073-435-5245

② **こころのフェスティバル** 5日 13:30~15:30

講演会 講師 長田文子さん(フェイスプランナー)
 ※問い合わせ 県精神保健福祉センター ☎073-435-5194

11月・12月のイベント

ワークショップ講座

「暴力から子どもを守るために」
 ~CAP大人ワークショップ~
 日時 11月13日(土) 13:30~15:30
 場所 打田町保健福祉センター
 講師 家本めぐみさん
 (toddleわかやま代表)

同和運動推進月間特別展

「部落差別の今」

~今なお発生する差別事象の実情~
 日時 11月1日(月)~30日(火)
 9:30~17:00
 場所 和歌山ビッグ愛(財)和歌山県人権啓発センター 人権ギャラリー

同和運動推進月間講演会

「わかあがれ人間賛歌」

~部落問題の解決を約束する人権教育・啓発を~
 日時 11月15日(月) 13:30~15:30
 場所 和歌山ビッグ愛1階 大ホール
 講師 寺澤亮一さん
 ((財)奈良人権・部落解放研究所理事長)

世界エイズデー・イン・和歌山

「HIVとエイズの違い」知っていますか
 街頭啓発・ボランティアコンサートなど
 日時 12月4日(土) 10:00~12:00
 場所 JR和歌山駅中央口
 問い合わせ 県庁健康対策課
 ☎073-441-2643

人権セミナー

「ジロジロ見ないで」

~あなたは頬をマジックで赤く塗って外出できますか?~
 日時 ①11月27日(土) 14:00~16:00
 ②11月28日(日) 14:00~16:00
 場所 ①和歌山大学生涯学習教育研究センター2階 ホール
 ②有田振興局3階 大会議室
 講師 石井政之さん
 (NPO法人ユニークフェイス会長)

「女子高生になれなかった少年」

~ある性同一性障害者の青春時代~
 日時 12月18日(土) 14:00~16:00
 場所 岩出町総合保健福祉センター
 講師 佐倉智美さん
 (佐倉ジェンダー研究所所長)

問い合わせ

(財)和歌山県人権啓発センター
 ☎073-435-5420

福祉の店「フレイ・愛」

障害福祉施設等で制作した製品の展示販売
 日時 11月27日(土)、28日(日)
 10:00~16:00
 場所 JR和歌山駅中央口
 問い合わせ 県庁障害福祉課
 ☎073-441-2532

人権に関わる県の主な相談窓口

相談日については、祝日や年末年始などの対応が各窓口で異なる場合がありますので、詳細はお問い合わせください。

相談内容	相談窓口						その他	
	名称	所在地	相談日	相談時間	電話番号	FAX番号		
人権全般	人権電話相談(人権ホットライン) (財)和歌山県人権啓発センター	—	月~金曜日	9:00~16:00	073-421-7830	—		
	弁護士による法律相談 (財)和歌山県人権啓発センター	和歌山市手平2-1-2 和歌山ビッグ愛2階	第2・4木曜日	13:00~16:00	073-435-5420	073-435-5421	事前予約必要	
子ども	県子ども・障害者相談センター	和歌山市毛見琴ノ浦1437-218	月~金曜日	9:00~17:45	073-445-5312	073-445-3770		
	県紀南児童相談所	田辺市元町1849-7	月~金曜日	9:00~17:45	0739-22-1588	0739-22-1917		
	県紀南児童相談所新宮分室	新宮市緑ヶ丘2-4-8	月~金曜日	9:00~17:45	0735-22-8551	0735-21-9648		
	子どもと家庭のテレフォン110番 (電話)	—	月~金曜日 土・日曜・祝日	9:00~20:00 9:00~16:30	073-447-1152	—		
女性	県女性相談所(電話)	—	毎日	9:00~21:30	073-445-0793	073-447-1587	事前予約必要	
	県女性相談所(面接)	—	月~金曜日	9:00~17:45				
	推進センター 県男女共生社会	総合相談(電話)	和歌山市手平2-1-2 和歌山ビッグ愛9階	月~土曜日	9:00~20:30	073-435-5246	—	事前予約必要 事前予約必要 事前予約必要
		〃(面接)		9:00~17:30				
		カウンセリング(電話・面接)		第1~4金曜日	13:00~17:00			
弁護士による法律相談(面接)	毎月3回	13:00~16:00						
DV(ドメスティック・バイオレンス)電話相談 (ウイメンズネット・和歌山)	—	木曜日	10:00~19:30	073-422-0318	—			
障害者の権利擁護	権利擁護相談(ハートフル110番)	和歌山市毛見琴ノ浦1437-218 県子ども・障害者相談センター内	月~金曜日	10:00~16:00	073-448-2552	073-448-2553	事前予約必要	
	権利擁護相談(ハートフル110番) 弁護士による法律相談		第3水曜日	13:30~15:30				
高齢者一般	県高齢者総合相談センター (シルバー110番)	和歌山市手平2-1-2和歌山ビッグ愛7階 和歌山県いきいき長寿社会センター	月~金曜日	9:00~17:00	073-435-5212	—		
痴ほう	呆け老人をかかえる家族の会 (わかやま痴ほうなんでも電話相談)	和歌山市岡山丁23	月曜日(祝日を含む)	10:00~15:00	0120-969-487	—	通話料無料	
外国人の生活	県国際交流センター	和歌山市手平2-1-2 和歌山ビッグ愛8階	火・木曜日(英語) 土曜日(英語・中国語)	13:00~16:00 10:00~16:00	073-435-5241	073-435-5243	事前予約必要・対応言語(英語・中国語)	
HIV・AIDS	エイズ夜間相談電話	—	月曜日	19:00~21:00	073-474-3222	—		
	エイズテレフォンサービス(テーブル案内)	—	毎日	24時間	073-441-2644 0739-26-7948	—		
ハンセン病	和歌浦健康相談所	和歌山市和歌浦西2-1-23	月~金曜日	9:00~17:45	073-444-2287	073-444-2287	面接相談は事前予約必要	
	県庁健康対策課ハンセン病相談窓口	和歌山市小松原通1-1	月~金曜日	9:00~17:45	073-441-2643	073-428-2325		
心の悩み	県精神保健福祉センター	和歌山市手平2-1-2 和歌山ビッグ愛2階	月~金曜日	9:30~16:00	073-435-5192	073-435-5193	面接相談は事前予約必要	
難病等の子ども	子ども保健福祉相談センター	和歌山市紀三井寺811-1 県立医科大学附属病院3階	月~金曜日	9:00~12:00 13:00~17:45	073-445-0520	073-445-0603	面接相談は事前予約必要	
警察安全 犯罪被害や県民の安全・平穏に関する相談	県警察本部警察相談課	和歌山市小松原通1-1-1	毎日	24時間	#9110又は 073-432-0110	—	緊急を要する場合は110番(夜間及び土・日曜・祝日は当直)	
犯罪被害者	NPO法人紀の国被害者支援センター	和歌山市岡山丁4	月~水曜日・金曜日	13:00~16:00	073-427-1000	—		
			木曜日	13:00~16:00				
			18:00~21:00					

11月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	日
12月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金

各振興局代表電話
 有田... ☎0737-63-4111
 海草... 県庁代表と同じ ☎0738-22-3111
 那賀... ☎0736-63-0100
 伊都... ☎0736-34-1700

和歌山県のホームページは <http://www.pref.wakayama.lg.jp/>
 県庁・県教育委員会への
 郵便は 〒640-8585 (県庁専用郵便番号、住所記入不要) ○○○課あて
 電話は ☎073-432-4111(代表)



時... 期日・時間 場... 場所・会場 定... 定員 対... 対象・資格 費... 費用 申... 申込・応募方法 問... 問い合わせ (抽)... 希望者多数の場合抽選 ※の機関・施設は県庁の敷地内にはありませんのでご注意ください

募集

下水道入門講座

下水道の仕組みや施設見学
 時 11月27日(土)13:00~16:00
 場 伊都浄化センター(かつらぎ町)
 定 50人(先着順)
 申 電話、ハガキ、FAX、Eメールで住所、氏名、年齢、電話番号を11月15日までに県庁下水道課 FAX073-436-2940 Eメールnagata_k0002@pref.wakayama.lg.jp
 問 申込先

初級スポーツ教室

時 1月7日~3月18日
 場 県体力開発センター(和歌山市)
 費 5,500~8,000円(保険料込)
 申 幼児・児童 = 往復ハガキで希望教室名、住所、氏名、年齢(生年月日)、学年、保護者名、電話番号を記入し、11月27日までに会場〒640-8392和歌山市中之島2252 1人1教室につき1枚 (抽)
 成人 = 12月5日 9:00から会場受付(先着順)
 問 会場☎073-431-7173

対象	種別	教室名	曜日	定員
幼児・児童	体操	3歳児と親	火	20
		4~6歳児	月	各
	水泳	小学1~6年生	月	30
		4~6歳児	木	50
成人女性	体操	レディースアスレティック	火	各
	水泳	レディーススイミング	月	60
成人男女	体操	リズムエクササイズ	金	25
		アスレティックシルバード	月・木	各
	水泳	アスレティックナイト	月	各
		アスレティック&アクア	木	30
	水中運動	ナイトスイミング	火	50
		アクアソフト	土	50
	水中運動	アクアエクササイズ	木	40
		アクアケア	月	50
		アクアケア	金	20

「オペレーター」セミナー

電話やパソコンによる注文などに対応するコールセンターのオペレーター業務についての体験セミナーを開催
 時・場 11月27日(土) = 和歌山ビッグ愛(和歌山市)、12月4日(土) = 那賀振興局(岩出町) 各13:30~15:30
 定 各60人程度(先着順)
 申 電話、FAXで住所、氏名、年齢、電話番号を、は県庁企業立地室FAX073-432-4409、は那賀振興局地域行政課 FAX0736-61-0107
 問 申込先

森林作業体験会

間伐作業や林業現場見学等
 時 11月26~28日(2泊3日)
 場 わかやま林業労働力確保支援センター(上富田町)
 定 15人(先着順)
 費 7,000円程度(食費、宿泊費等)
 申 電話で11月15日までに会場
 問 会場☎0739-83-2022

貸金業務取扱主任者研修

貸金業務取扱主任者研修 A
 対 法定研修実務編を修了し、有効期限内である方又は金融取引管理者認定研修修了者
 時 1月22日(土)13:30~16:00
 貸金業務取扱主任者研修 B
 対 研修A受講対象者以外の方
 時 2月19日(土)10:00~17:00
 申 電話で は11月18日~12月1日に、 は12月8~20日に 県貸金業協会
 問 申込先☎073-433-1560

ごあんない

歌謡「ぶんざ」公演

和歌山の先人紀伊国屋文左衛門の活躍を描く 作・音楽 小椋佳
 時 12月3日(金)18:30~
 場 県民文化会館(和歌山市)
 問 県文化振興財団 ☎073-436-1331

青少年のための科学の祭典 おもしろ科学まつり和歌山大会

自然科学に関する実験、観察、工作等35ブース出展
 時 11月27日(土)9:30~16:30
 11月28日(日)9:30~16:00
 場 わかやま館 (和歌山マリーナシティ)
 問 事務局(和歌山大学物理学教室)☎073-457-7312

法務局くらしの相談

登記・戸籍・供託・人権擁護等の相談会開催
 時 11月14日(日)10:00~16:00 (受付は15:00まで)
 場 和歌山市、御坊市、田辺市、新宮市、高野口町内の5会場 詳細は問合先まで
 問 和歌山地方法務局総務課 ☎073-422-5131

外国人のための専門家による無料相談会

在留資格、保険・年金、労働、医療、教育や生活一般の相談
 時 11月21日(日)10:00~16:00 (受付は15:30まで)
 場 和歌山ビッグ愛(和歌山市)
 問 県国際交流協会 ☎073-435-5240

最新の医療カンファランス(講演)

時 11月18日(木) = 慢性閉塞性肺疾患、糖尿病はどんな病気、12月9日(木) = 子宮ガン、乳がんはどんな病気
 各15:00~17:00
 場 県立医科大学 生涯研修・地域医療センター(和歌山市)
 問 会場☎073-441-0789

地域福祉推進フォーラム

テーマ 支え合いのふるさとづくりをめざして~地域福祉計画と住民参画による地域福祉の実践~
 時 11月20日(土)13:00~16:00
 場 紀南文化会館(田辺市)
 問 県庁福祉保健総務課

公開フォーラム

講演とパネルディスカッション
 テーマ 「行政とNPO等のパートナーシップのあり方について」
 時 11月29日(月)13:00~16:00
 場 県民文化会館(和歌山市)
 問 県庁NPO協働推進課

中小企業労働施策アドバイザー

県が委嘱した社会保険労務士が事業所等を直接訪問し、職場環境・人事労務管理のアドバイス、社内コミュニケーション診断を実施
 問 県庁労働企画課

はつらつまママさんバレーボール

時 11月23日(祝)9:30~15:00
 場 県立橋本体育館
 費 無料(要整理券)
 問 橋本市文化スポーツ振興公社☎0736-32-9660

和歌山地場産フェア

地場産品の展示即売・実演・体験
 時 11月27日(土)・28日(日) 各10:00~17:00
 場 和歌山地域地場産業振興センター(和歌山市)
 問 会場☎073-447-3334

県推奨映画「ハードル」

出崎哲監督
 内容 主人公に立ちはだかる、いじめ問題など心のハードル(壁)を乗り越えて、自分と人とを大切に、信念で行動する勇気を描いた長編アニメーション
 問 県庁青少年課

学校開放週間(11月8~14日)

学校行事等の公開
 県内公立の小・中・高等学校、県立の盲・ろう・養護学校で、保護者や地域の皆さんに学校への理解と関心を深めていただくため、授業や学校行事を公開 詳細は各学校まで
 問 県教育委員会県立学校課

わっ歯よいわかやま8020 フェスタ in 海南

歯の検診や健康相談、忍たま乱太郎クイズ大会、フッ素体験等
 時 11月21日(日)10:00~16:00
 場 海南市立総合体育館
 問 県庁健康対策課

暴力団追放県民・市民大会

暴力団対策や古都清乃さん(歌手)の講演等
 時 11月16日(火)13:30~15:30
 場 和歌山市民会館
 問 県庁県民生活課

試験

時 12月5日(日)
県立学校の寄宿舎指導員・校務員採用
 採用予定人員
 寄宿舎指導員 = 2人
 校務員 = 2人

募集案内配布 県教育委員会 県立学校課、地方教育事務所、和歌山市教育委員会
 申 11月18日(木)までに県教育委員会県立学校課
 申込みはいずれか1つの職種
 問 申込先

道路交通法が改正されました 11月1日から

- 運転中の携帯電話等の使用に関する罰則強化**
 - ・手で持って通話したり、メールの送信等のため画像を注視した場合は罰則(5万円以下の罰金) 違反点数1点、反則金5~7千円
 - 集団暴走行為や騒音運転に対する罰則強化**
 - ・集団暴走行為の罰則強化
 - ・騒音運転及び消音器不備の罰則強化
 - 飲酒運転の呼気検査を拒否した場合の罰則強化**
 - ・5万円以下の罰金▶30万円以下の罰金に引き上げ
- 問 県警交通企画課☎073-473-0110、県庁県民生活課

個人事業税(後期分)の納期限は11月30日です

- お近くの金融機関(郵便局も可)でお願いします
 - 簡単、便利、確実な口座振替もご利用ください
- 【夜間納税窓口の開設】11月25日(木)20:00まで 県税の納税や納税相談にお気軽にご利用ください
 場・問 振興局税務課(海草は税務部事業税課・納税課)

税務署からのお知らせ

- 税を考える週間** 11月11~17日
- 消費税の改正**
 税制改正により事業者免税点が3,000万円から1,000万円に引き下げられました。平成15年分の課税売上が1,000万円を超える方は消費税課税事業者届出書の提出が必要です。
- 「税金の話(租税教室)」** 学校や職場、地域の集まりで、皆さんの希望により開催します。
 問 最寄りの税務署

狩猟が解禁されます 11月15日~2月15日

狩猟には免許と登録の手続きが必要です
 問 県庁自然環境室、振興局林務課

秋季全国火災予防運動 11月9~15日

『火は消した? いつも心に きいてみて』

催し

県立近代美術館 ☎073-436-8690
休館/月曜(祝日の場合翌日)

- ◎「関西文化の日」11月20日(土)・21日(日)は入館料無料
- 特別企画展「チャールズ&レイ・イムズ 創造の遺産」
11月2日(火)～12月26日(日)
- 「コレクション展 2004-秋」 ～12月26日(日)
- ・記念講演会「イムズと日本 剣持勇を通して」
11月3日(祝)13:30～ 当日受付 定120人
- ・ミュージアム・トーク(学芸員による展示解説)
11月28日(日)・12月11日(土)14:00～15:00

県立博物館 ☎073-436-8670
休館/月曜(祝日の場合翌日)

- 特別展「空海と高野山」(後期)11月3日(祝)～23日(祝)
※11月2日は臨時休館

県立紀伊風土記の丘 ☎073-471-6123
休館/月曜(祝日の場合翌日)

- 特別展「火」一人と火の関わりを探る～11月23日(祝)
- ふどき講座「火の考古学」
11月23日(祝)13:00～14:30 対一般 当日受付
- ふどき講座「田辺の粥占いとお田植の祭り」
12月4日(土)13:00～14:30 対一般 当日受付
- モノ作り本物志向「陶芸家と埴輪の製作」
12月1・8・15日 ※3回連続 各回10:00～15:00
対一般 定5人 申11月9～18日 費2,019円

県植物公園緑花センター ☎0736-62-4029
休館/火曜(祝日の場合翌日)

- クリスマスの飾り方 ～ツリーの形のアレンジメント～
12月5日(日) ※事前申込必要
- 寒ラン展11/23、寒らん遅咲き展11/27～28、冬の洋ラン展12/10～12

県動物愛護センター ☎073-489-6500
休館/火曜

- いぬ・ねこ譲渡講習会
11月28日(日)、12月13日(月) 14:00～
※申込不要、講習を受けなければ譲渡できません

県公館 一般公開 ☎073-441-2214
問 県庁管財課

- 11月28日(日)、12月12日(日) 10:00～16:00
※駐車場はありません。バス停「不老橋」下車徒歩1分

お気軽にどうぞ

交通事故相談 ☎073-441-2359

- 【常設相談】月～金曜日 場所/県庁交通事故相談所、東牟婁振興局(水曜日を除く ☎0735-22-8551)
- 【弁護士による相談】電話予約必要
- 県庁交通事故相談所 11月15日(月)、12月6日(月) 受付/13:00～14:00 ●東牟婁振興局 11月19日(金)、12月3日(金) 受付/正午まで
- 【巡回相談】伊都振興局11月24日(水)受付/11:00～15:00

県民相談 ☎073-441-2356

- 【常設相談】月～金曜日 場所/県庁県民相談室
- 【弁護士による相談】県庁県民相談室 ※先着各20人
- 11月26日(金)<☎予約11/17～> ●12月3日(金)<☎予約11/29～> ●12月14日(火)<☎予約12/6～>
- 【移動相談】※各先着10人(予約開始日に注意)
- 11月30日(火)熊野川町・総合開発センター<☎予約11/16～東牟婁振興局0735-21-9605>
- 12月9日(木)かつらぎ町・笠田東町民会館<☎予約11/25～伊都振興局0736-33-4900>

高齢者相談 ☎073-435-5212

- 【常設相談】月～金曜日
- 【専門相談】※日時はお問い合わせください
- 【弁護士による相談】11月19日(金)(電話予約必要)
- 場所/県高齢者総合相談センター(和歌山ビッグ愛7階)

医療安全相談 ☎073-441-2611

- 【常設相談】月～金曜日 場所/県庁医務課
- ※各県立保健所(支所)総務課でも実施しています
- 【弁護士による相談】11月30日(火)、12月13日(月)13:00～17:00 場所/県庁医務課 ※事前予約必要

県政広報番組のお知らせ

県の施策や地域の話題を特集

テレビ
テレビ和歌山(WTV) TV
きのくに21 日曜日 9:30、(再)22:00

ラジオ
和歌山放送(WBS) RADIO
県民マイク 土曜日 14:30

自然博物館

休館/月曜(祝日の場合翌日)
◎「関西文化の日」11月20日(土)・21日(日)は入館料無料

標本展
小・中・高校生から応募のあった標本作品の展示
時 11月20日～12月5日

お魚講座 魚の話とエサやり体験
時 12月23日、1月10日 各13:00～16:30

対・定 高校生～一般 各20人 抽
費 入館料+103円(保険料)
申 往復ハガキ、Eメールで住所、氏名、年齢、電話番号、参加希望日、講座名を12月9日までに県立自然博物館〒642-0001 海南市船尾370-1 ☎073-483-1777 Eメール esa@shizenhaku.wakayama-c.ed.jp
問 申込先

広報誌「W-ing(ウイング)」

第25号 『未来に開く心の道』
世界遺産 紀伊山地の霊場と参詣道

県内の公共施設・銀行・郵便局・病院・診療所・理容店等の待合でご覧いただけます。
県庁広報室、振興局県民行政部総務課、県内ローソン店舗でお渡しします。郵送は、返信用切手200円分を同封のうえ県庁広報室へ



麻薬・覚せい剤乱用防止運動実施中

10月1日～11月30日
「薬物乱用は、ダメ。ゼッタイ。」
～愛する自分を大切に～

青少年の家

北 野外レストラン
時・メニュー 11月27日(土) スパゲティ
申 11月21日までに会場 抽

北 こだわりの竹クラフト
竹を素材とした物(小動物)づくり
時 11月27～28日(1泊2日)
対 小学4年～中学生
申 11月16日までに会場 抽

潮 とろける芸術 ろうそくアート
時 11月27～28日(1泊2日)
対 小学4～6年生
申 11月16日までに会場 抽

北 「世界に1枚だけのハガキ」作り
時 12月4～5日(1泊2日)
対 小学4年～中学生
申 11月20日までに会場 抽

潮 クリスマスリース作り
時 12月11日(土)
対 一般
※小学3年生以下は保護者同伴
申 11月1日～12月8日までに会場 抽

北 あわてんぼうのサンタクロース
パーティなどで仲間づくり
時 12月18～19日(1泊2日)
対 小学4年～中学生
申 12月10日までに会場 抽

白 ウェルカム白崎
ケーキ作りやパーティなどで仲間づくり
時 12月18～19日(1泊2日)
対 小学4年～中学生
申 12月7日までに会場 抽

北 プランニングセミナー
野外活動の実践と効果の講習
時 12月26～27日(原則1泊2日)
対 青少年教育関係者
申 12月10日までに会場 抽

ハガキ・FAXで申し込む場合
参加者全員の住所、氏名、年齢(学年)、電話番号、保護者名、希望行事名を記入してください。(電話での申込み可)
※費用等詳細は各会場へ問い合わせ

申込・問合先
北 = 紀北青少年の家
〒649-7112 かつらぎ町中飯降1317-3
☎0736-22-5530 FAX0736-22-5531
白 = 白崎青少年の家
〒649-1123 由良町大引961-1
☎0738-65-2351 FAX0738-65-2352
潮 = 潮岬青少年の家
〒649-3502 串本町潮岬669
☎0735-62-6045 FAX0735-62-0182

県男女共生社会推進センター りいぶるフェスタ2004 ～みんなが主役、共同参画～

海原純子氏(医師・エッセイスト)の講演「素敵に年を重ねるために～心と身体の健康を考える～」と木村知事との対談を開催

時 12月4日(土)13:00～15:00
場 和歌山ビッグホール (和歌山市)
定 250人(事前申込要、先着順)
※一時保育(1歳～小学2年生)は11月22日までに申込必要
申・問 住所、氏名、年齢、電話番号を県男女共生社会推進センターりいぶるフェスタ ☎073-435-5245 FAX073-435-5247 Eメール e0315012@pref.wakayama.lg.jp

平成17年度 看護学校等学生募集

課程	学校名(所在地)	電話番号	定員(人)	願書受付期間	試験日
大学4年	県立医科大学 保健看護学部 (和歌山市)	073-446-6700	80	1/24～2/2	前期2/25 後期3/12
保健師	県立高等看護学院 保健学科 (那賀町)		20	12/2～9	一次1/25 二次2/9
助産師	(") 助産学科 (")	0736-75-6280	15	12/2～9	一次1/24 二次2/9
	(") 看護学科一部 (")		50	12/2～9	一次1/27 二次2/10
看護師	県立なぎ看護学校 (新宮市)	0735-31-8797	40	12/10～17	一次1/27 二次2/10
	和歌山赤十字看護専門学校 (和歌山市)	073-422-4171	50	12/6～24	一次1/27 二次1/28
	社会保険紀南看護専門学校 (田辺市)	0739-22-1592	30	前期12/6～1/13 後期2/14～28	一次1/27 二次1/28 一次3/10 二次3/11
	和歌山看護専門学校 (和歌山市)	073-456-5780	50	前期12/15～17 後期2/4～7	1/27 2/15
	和歌山市医師会看護専門学校 (和歌山市)	073-445-9805	40	1/5～7	1/20
2年	県立高等看護学院 看護学科二部 (那賀町)	0736-75-6280	45	12/2～9	一次1/27 二次2/10
5年	県立南紀高等学校 看護科 (田辺市)	0739-22-3776	40	一般出願 2/24～25 本出願 3/3～4	3/11
准看護師	国保野上厚生総合病院附設准看護学院(野上町)	073-489-2178	15	1/20～31	一次2/4 二次2/10
	新宮市医師会准看護学院 (新宮市)	0735-21-2529	30	1/17～28	2/11

〔変更承認申請中〕看護師養成所2年課程(通信制)
看護師 和歌山看護専門学校(和歌山市) 073-456-5780 250 1月中旬予定 1月下旬予定

- 募集定員は推薦枠を含む ●3年課程は高等学校卒業生、2年課程は准看護師、5年課程は中学校卒業生を対象としています
- 大学は大学入試センター試験の受験が必要です(出願多数の場合、2段階選抜実施)
- 一次試験合格者には二次試験があります ※詳細については、各学校・養成所へお問い合わせください